

科目名		担当教員	
心理アセスメント		渡部 純夫	
科目コード	単位数	履修方法	配当年次
FF2519	2	RorSR (講義)	1 年以上



※2017 年度以前に入学した方が対象の科目です。2018 年度以降に入学した方は履修登録できません。

※2018 年度以降に入学した方は、「心理的アセスメント I」（科目コード：FF3553）を参照してください。

※本科目を履修登録する方も、下記記載の「■レポート課題」「■アドバイス」以外の項目は、「心理的アセスメント I」（科目コード：FF3553）を参照してください。

※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2025 年度の開講後は 2027 年度開講予定です。

※オンデマンド・スクーリングは 2025・2026 年度開講予定です。

■レポート課題

1 単位め	クライアントを多面的・総合的・全人的にとらえようとしたとき、心理アセスメントにおける「面接法」「観察法」「検査法」を的確に活用し、クライアントの人格像が見えるように整理しなさい。
2 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

クライアントの心理を理解するためには、どのようなアセスメントの方法を身につけておかなければならないかをまず学習していきます。心理アセスメントというと、どうしても心理テストに偏りがちなのですが、ここでは「面接法」「観察法」「検査法」の 3 つの方法について学習を深めていき、総合的なクライアント理解を考えていきます。心理テストによるアセスメント（＝検査法）も重要なのですが、「面接法」「観察法」「検査法」はそれぞれ独自の特徴を持っています。その特徴をよくつかみながら、上手に組み合わせて使いこなすことにより、より効果的なアセスメントが可能になります。

また、アセスメントで特に注意を払わなければならないことの一つに、クライアントのパーソナリティの問題をあげることができます。パーソナリティを読み解き理解していくためには、パーソナリティとは何かをまず知らなくてはなりません。その上で、自分なりの考え方をしっかりと身につけていくことが重要になります。パーソナリティの理解は、「面接法」「観察法」でも行われるわけですが、より客観性を求めていくと「検査法」である心理テストに行き当たります。そこで、興味を持った心理テストを取り上げ、自分なりに調べてみることにより、心理テストのいろいろな特徴について理解を深めてもらいたいと思います。

【1 単位めアドバイス】

- (1) テキスト『健康心理アセスメント概論』の第 1 章・第 2 章・第 3 章をよく読み、アセスメントとは何なのか。その必要性和意義について幅広い観点から学習してください。自分の中のイメージをふくらませることができたら、アセスメントの方法に進んでください。
- (2) アセスメントの方法にはいくつかのものがあありますが、特に「面接法」「観察法」「検査法」の理解を深めてください。「検査法」と関係の深いものに「質問紙法」「心理生理学的測定」があります、あわせて学べると「検査法」に関しての理解が広がると思われます。

- (3) それらを、実際の場面を想定しながら自分なりにまとめていくことにより心理アセスメントの方法が自分なりに理解できてくると思います。それを、整理しレポートにまとめてください。

【2 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。